

レコード名	震 源 レ コ ー ド		レ コ ー ド 長	96B
項番	項目名	型と長さ	内容	
1	レコード種別ヘッダー	A 1	A : 震源レコード B : 群発地震時の震源レコード D : 震源が離れた地震の組の震源レコード	
2	西暦	I 4	オリジンタイムの西暦	
3	月	I 2	" 月	
4	日	I 2	" 日	
5	時	I 2	" 時	
6	分	I 2	" 分	
7	秒	F 4. 2	" 秒	
8	標準誤差 (秒)	F 4. 2	" 標準誤差 (秒)	
9	緯度 (度)	I 3	震央の緯度 (度)	
10	緯度 (分)	F 4. 2	" (分)	
11	標準誤差 (分)	F 4. 2	" 標準誤差 (分)	
12	経度 (度)	I 4	震央の経度 (度)	
13	経度 (分)	F 4. 2	" (分)	
14	標準誤差 (分)	F 4. 2	" 標準誤差 (分)	
15	深さ (km)	F 5. 2 I 3, 2 X	深さフリーの条件で計算した時の震源の深さ (km) 深さ固定または下記の刻みの条件で計算した時の震源の深さ (km) 10km (1926年~1960年, 1967年~1982年) 20km (1961年~1966年) 1km (1983年~) 1982年以前の地震については適宜再調査され、深さフリーまたは1km刻みの震源に置き換えられる	
16	標準誤差 (km)	F 3. 2	震源の深さの標準誤差 (km) 深さフリー以外の条件の場合は空白	
17	マグニチュード1	F 2. 1	気象庁第1マグニチュードまたはUSGS等が計算した実体波マグニチュード 0未満の場合は以下のように表記する -0.1:-1 -0.9:-9 -1.0:A0 -1.9:A9 -2.0:B0 -3.0:C0	
18	" 種別	A 1	<気象庁マグニチュード> J : 旧観測網における坪井変位M (検知網展開以降は気象官署の震度計を2回積分して機械式地震計フィルターを適用した変位振幅に坪井変位Mを適用) D : 坪井変位Mに準拠した変位M d : Dに同じ、但し観測点数2点で決定 V : Dに準拠した速度M v : Vに同じ、但し観測点数2~3点で決定 <他機関マグニチュード> B : USGS等が計算した実体波M S : USGS等が計算した表面波M	

レコード名	震源レコード	レコード長	96B
項番	項目名	型と長さ	内容
19	マグニチュード2	F 2. 1	気象庁第2マグニチュードまたはUSGS等が計算した表面波マグニチュード
20	種別	A 1	マグニチュード1種別と同様
21	使用走時表	A 1	<p>気象庁が震源を決定するために使った走時表の種類</p> <p>他機関が決定した震源の場合は空白</p> <p>1 : 市川・望月(1971)、または浜田(1984)(以下83A)などによる走時表</p> <p>2 : 市川(1978)による走時表(以下LL)(三陸沖等の地震)</p> <p>3 : 市川・望月(1971)による走時表とLL、または83AとLL(北海道東方沖等の地震)</p> <p>4 : 市川・望月(1971)による走時表とLL、または83AとLL(千島列島付近等の地震)</p> <p>5 : 上野・他(2002)による走時表(以下JMA2001)</p> <p>6 : JMA2001とLL(ただしLLはJMA2001のメッシュ間隔に適合させたもの)(千島列島付近等の地震)</p> <p>7 : 陸域用(JMA2001A)、東北太平洋沖用(JMA2020A)、東北アウターライズ用(JMA2020B)、南海トラフ用(JMA2020C)のいずれかの走時表</p> <p>上記2は三陸沖等、3は北海道東方沖等、4、6は千島列島付近等に震源が求まった場合に用いられる。</p> <p>上記7については、各観測点の位置に対応した走時表が選択され、震源計算に用いられる。</p>
22	震源評価	A 1	<p>震源を決定するにあたっての初期条件不明な場合は空白</p> <p>1 : 深さフリー</p> <p>2 : 深さ刻み条件(深さを一定の幅で変化させて計算)で最適解を求めた</p> <p>3 : 深さ固定等、人の判断による</p> <p>4 : Depth phaseを用いた</p> <p>5 : S-Pを用いた</p> <p>7 : 参考</p> <p>8 : 決定不能または不採用</p>
23	震源補助情報	A 1	<p>気象庁が決定した震源に対する情報</p> <p>他機関の場合空白</p> <p>1 : 通常地震 2 : 他機関依存</p> <p>3 : 人工地震 4 : ノイズ等</p> <p>5 : 低周波イベント</p>

レコード名	震 源	レ コ ー ド	レ コ ー ド 長	96B
項番	項目名	型と長さ	内容	
24	最大震度	A 1	1 : 震度 1 2 : 震度 2 3 : 震度 3 4 : 震度 4 5 : 震度 5 (1996年9月まで) 6 : 震度 6 (1996年9月まで) 7 : 震度 7 A : 震度 5 弱 B : 震度 5 強 C : 震度 6 弱 D : 震度 6 強 L : 局発地震(最大有感距離が100km未満) (1977年まで) S : 小局発地震(最大有感距離が100km以上 200km未満) (1977年まで) M : やや顕著地震(最大有感距離が200km以上 300km未満) (1977年まで) R : 顕著地震(最大有感距離が300km以上) (1977年まで) F : 有感地震(1984年まで) X : 付近有感(1996年9月まで)	
25	被害規模	A 1	宇津が定めたところによる被害規模 1 : 壁や地面に亀裂が生じる程度の微小被害(火山などの特殊な場所の地割れなどは除く) 2 : 家屋の破損、道路の破損などが生じる程度の小被害 3 : 複数の死者または複数の全壊家屋が生じる程度(ただし4には達しない) 4 : 死者20人以上または家屋全壊1千戸以上(ただし5には達しない) 5 : 死者200人以上または家屋全壊1万戸以上(ただし6には達しない) 6 : 死者2000人以上または家屋全壊10万戸以上(ただし7には達しない) 7 : 死者2万人以上または家屋全壊100万戸以上 X : 被害あったが程度がわからないもの、または被害があったとみられるもの(1988年まで) Y : 同じ地域に直前または直後に起こった地震の被害と一緒に、この地震の被害のみを取り出してその程度を与えることが難しいもので、直前または直後の地震の被害に含まれている(1988年まで)	

レコード名	震 源 レ コ ー ド	レコード長	96B
-------	-------------	-------	-----

項番	項目名	型と長さ	内容
26	津波規模	A 1	1926年～1988年 宇津が定めたところによる津波規模 1 : 検潮器では津波が観測されたが被害なし T : 津波あり ----- 1989年～ 今村・飯田(1958)による津波規模 1 : 波高50cm以下 2 : 波高1m前後 3 : 波高2m前後 4 : 波高4～6m 5 : 波高10～20m 6 : 波高30m以上
27	大地域区分番号	I 1	震央地名ファイルによるところの大地域区分番号
28	小地域区分番号	I 3	震央地名ファイルによるところの小地域区分番号
29	震央地名	A 2 2	震央地名
30	観測点数	I 5	震度 1 以上を観測した観測点の数
31	震源決定フラグ	A 1	K : 気象庁震源 S : 気象庁参考震源 N : 震源未計算(この場合、震源要素に先頭の震度観測点の位置が入る) U : USGS震源 I : ISC震源 R : 速報震源(管区にはあるが、本庁でない震源) H : 震度観測時刻が時間単位までのデータ D : " 日単位までのデータ M : " 月単位までのデータ

レコードレイアウト

レコード名 震源レコード レコード長 96B

項目	ヘッダー	西暦	月	日	時	分	秒	標準誤差 (秒)													
	型	A1	I4	I2	I2	I2	I2	F4.2	F4.2												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21

項目	緯度 (度)	緯度 (分)	標準誤差 (分)	経度 (度)	経度 (分)	標準誤差 (分)															
	型	I3	F4.2	F4.2	I4	F4.2	F4.2														
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42

項目	深さ (km)	標準誤差 (km)	マグニチュード1	M1種別	マグニチュード2	M2種別	使用走時表	震源評価	震源情報	最大震度	被害規模										
	型	F5.2 or I3, 2X	F3.2	F2.1	A1	F2.1	A1	A1	A1	A1	A1										
	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63

項目	津波規模	大地域番号	小地域番号	震央地名																	
	型	A1	I1	I3	A22																
	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84

項目	観測点数	震源決定フラグ										
	型	I5	A1									
	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96

平成16年8月30日 更新

レコード名 震度・加速度レコード レコード長 96B

項番	項目名	型と長さ	内容
1	観測点番号	I 7	震度観測点の地点番号 code_p. datで与えられる
2	空白	A 1	空白
3	発現日	I 2	第1相の時刻、または震度計トリガー時刻
4	発現時	I 2	''
5	発現分	I 2	''
6	発現秒	F 3. 1	''
7	空白	A 1	空白
8	震度	A 1	気象庁震度階級による震度(1~7, A, B, C, D) 9:有感であるが階級不明
9	空白	A 1	空白
10	震度(計測値)	I 2	震度計による小数点1位までの計測震度 // は欠測
11	空白	A 1	空白
12	最大加速度発現分	I 2	最大加速度(合成値)を観測した時刻 // は欠測
13	最大加速度発現秒	F 3. 1	'' // は欠測
14	空白	A 1	空白
15	最大加速度(合成値)	I 5	単位0.1ガル(gal=cm/s ²) ///// は欠測
16	空白	A 1	空白
17	指示フラグ	A 1	N
18	最大加速度(南北成分)	I 5	単位0.1ガル(gal=cm/s ²) ///// は欠測
19	空白	A 1	空白
20	指示フラグ	A 1	E
21	最大加速度(東西成分)	I 5	単位0.1ガル(gal=cm/s ²) ///// は欠測
22	空白	A 1	空白
23	指示フラグ	A 1	Z
24	最大加速度(上下成分)	I 5	単位0.1ガル(gal=cm/s ²) ///// は欠測
25	空白	A 1	空白
26	指示フラグ	A 1	F(周波数)またはP(周期)
27	最大加速度周期 (南北成分)	I 3	0.1Hzまたは0.1秒単位(1Hz未満は周期) (観測値がない場合は空白) /// は欠測
28	指示フラグ	A 1	F(周波数)またはP(周期)
29	卓越周期 (南北成分)	I 3	0.1Hzまたは0.1秒単位(1Hz未満は周期) (観測値がない場合は空白) /// は欠測
30	指示フラグ	A 1	F(周波数)またはP(周期)
31	最大加速度周期 (東西成分)	I 3	0.1Hzまたは0.1秒単位(1Hz未満は周期) (観測値がない場合は空白) /// は欠測

レコード名	震 度 ・ 加 速 度 レ コ ー ド		レ コ ー ド 長	96B
項番	項目名	型と長さ	内容	
32	指示フラグ	A 1	F (周波数) または P (周期)	
33	卓越周期 (東西成分)	I 3	0.1Hzまたは0.1秒単位 (1Hz未満は周期) (観測値がない場合は空白) /// は欠測	
34	指示フラグ	A 1	F (周波数) または P (周期)	
35	最大加速度周期 (上下成分)	I 3	0.1Hzまたは0.1秒単位 (1Hz未満は周期) (観測値がない場合は空白) /// は欠測	
36	指示フラグ	A 1	F (周波数) または P (周期)	
37	卓越周期 (上下成分)	I 3	0.1Hzまたは0.1秒単位 (1Hz未満は周期) (観測値がない場合は空白) /// は欠測	
項番26 - 37の項目は、2000年10月01日以降のみ有効。				
38	空白	A 1 0	空白	
39		A 1	* (震源レコードのレコード種別フラグが M, H, Dの場合のみ) それ以外は空白	
40		I 5	観測回数 (震源レコードのレコード種別フ ラグがM, H, Dの場合のみ) それ以外は空白	

レコードレイアウト

レコード名 震度・加速度レコード レコード長 96B

項目	観測点番号							空 白	発現時							空 白	震 度	空 白	震 度 (計測値)		
									(日)	(時)	(分)	(秒)									
型	I7							A1	I2	I2	I2	F3.1	A1	A1	A1	I2					
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21

項目	空 白	最 大 加 速 度 時						空 白	最 大 合 成 加 速 度						空 白	指 示 フ ラ グ (N)		最 大 南 北 成 分 加 速 度		空 白	
		(分)					(秒)														
型	A1	I2	F3.1				A1	I5						A1	A1		I5		A1		
	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42

項目	指 示 フ ラ グ (E)	最 大 東 西 成 分 加 速 度						空 白	指 示 フ ラ グ (Z)	最 大 上 下 成 分 加 速 度						空 白	最 大 南 北 成 分 加 速 度 期		卓 越 南 北 成 分 周 期				
																	F or P		周波数 or 周期		F or P		周波数 or 周期
型	A1	I5						A1	A1	I5						A1	A1	I3		A1	I3		
	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63		

項目	最 大 東 西 成 分 加 速 度 期						卓 越 東 西 成 分 周 期						最 大 上 下 成 分 加 速 度 期						卓 越 上 下 成 分 周 期						空 白			
型	F or P						F or P						F or P						F or P						A10			
	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84							

項目											*	観 測 空 回 白 数					
型											A1	I5					
	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96					

令和4年8月25日 更新

レコード名	観測点レコード (code_p.dat)		レコード長	不定
項番	項目名	型と長さ	内容	
1	観測点番号	17	震度観測点の地点番号 上5桁は市町村コード	
	区切り文字		タブで項目を区切っている	
2	震度発表名称	不定	情報発表時に使用する名称	
	区切り文字		タブで項目を区切っている	
3	緯度	212	観測点緯度(度分)	
	区切り文字		タブで項目を区切っている	
4	経度	13, 12	観測点経度(度分)	
	区切り文字		タブで項目を区切っている	
5	観測開始日	14, 412	観測開始日(年、月、日、時、分) 不明の場合、該当する項目に[9999]もしくは [99]が入力されている。	
	区切り文字		タブで項目を区切っている	
6	観測終了日	14, 412	観測終了日(年、月、日、時、分) 不明の場合、該当する項目に[9999]もしくは [99]が入力されている。 運用中の場合は、空白	

レコードレイアウト

レコード名	観測点レコード (code_p.dat)		レコード長	不定				
項目	観測点番号	区切り文字	震度発表名称	区切り文字	緯度			
型	17		不定		12			
	1	2	3	4	5	6	7	8
項目	区切り文字	経度	区切り文字	観測開始日				
型	(分)	(度)	(分)	(年)	(月)	(日)	(時)	(分)
	12	13	12	14	12	12	12	12
項目	区切り文字	観測終了日						
型	(年)	(月)	(日)	(時)	(分)			
	14	12	12	12	12			